



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

東

上場会社名 粧美堂株式会社

上場取引所

コード番号 7819

URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉藤 政基 (TEL) 03-3472-7890

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	5,928	11.5	683	96.5	655	100.6	372	74.4
2025年9月期第1四半期	5,318	0.5	347	4.5	326	10.9	213	8.7

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 712百万円 (11.0%) 2025年9月期第1四半期 642百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	28.16	—
2025年9月期第1四半期	16.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	17,505	8,308	44.8
2025年9月期	16,321	7,810	45.5

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 7,849百万円 2025年9月期 7,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	11.50	—	16.50	28.00
2026年9月期	—				
2026年9月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	4.0	1,600	8.9	1,550	4.9	930	△4.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年9月期1Q	13,410,000株	2025年9月期	13,410,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年9月期1Q	200,227株	2025年9月期	200,227株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年9月期1Q	13,209,773株	2025年9月期1Q	13,209,773株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年10月1日～2025年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持したものの、原材料・資源価格の高騰などにより物価は上昇し、インフレによる実質賃金の低下により個人消費には足踏みが見られます。また、米国の政策動向の不確実性やウクライナ・中東情勢など地政学リスク、及び日中対立動向が予断を許さず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当連結会計年度は、近年推進し成果を上げている施策を継続し、さらなる成長を目指しています。具体的には、NB(ナショナルブランド)ビジネスではメイクツール、キャラクターコスメ、キッズコスメなど「粧美堂と言えば」の商品カテゴリーに注力し、自社企画商品の総合的な商品力を強化することで、「粧美堂」ブランドの価値向上を図っています。PB(プライベートブランド)ビジネスでは、新たな協力生産拠点の拡充により、コスト削減・品質向上・商品カテゴリーの拡充を進め、重点販売先のニーズに応えることで「モノづくりのパートナー」としてのシェア拡大を推進しています。

また全社横断組織であるDX推進室を中心に、社内DXの推進に継続的に取り組んでいます。BI(ビジネスインテリジェンス)ツールを導入し、出荷データをはじめとする社内の各種データを分析・可視化することで、経営および営業現場における迅速かつ的確な意思決定を支援し、生産性の向上や商品開発力の強化を目指しています。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比11.5%増の5,928,418千円と増収となり売上総利益額は2,110,772千円で対前年同期比34.4%増となりました。同利益率は35.6%と対前年同期比6.1%改善することができました。これは私どもが従来から進めている粧美堂ブランドの価値の向上により、利益率が相対的に高いNB(ナショナルブランド)商品の比率が上昇したことや高付加価値品へのシフトにより商品単価の上昇が寄与した結果と分析しております。販売費及び一般管理費は販売促進費、物流費などが増加し、対前年同期比16.7%増の1,426,945千円となりましたが、売上総利益の大幅な改善で吸収したことや前連結会計年度に当社グループ入りした株式会社ピコモンテ・ジャパンが好調に推移したことから営業利益は対前年同期比96.5%増の683,826千円、経常利益は対前年同期比100.6%増の655,819千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比74.4%増の372,028千円と各段階利益で大幅な増益となりました。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

①化粧品

当分類にはメイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上高が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、人気キャラクターや食品IPをあしらったメイクアップ用品、スキンケア用品、キッズコスメなど化粧品全般が引き続き好調な他、前連結会計年度にグループ入りした株式会社ピコモンテ・ジャパンの寄与もあり2,624,782千円(対前年同期比23.6%増)と大幅な増収となりました。

②化粧雑貨

当分類にはメイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上高が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、食品会社様とコラボレーションしたヘアケア関連雑貨などは好調に推移しましたが全体としては1,754,231千円(対前年同期比1.1%増)と微増となりました。

③コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、一部のOEM商品について取引採算を重視し選別受注を行ったため481,818千円(対前年同期比11.4%減)と減少しました。

④服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、人気キャラクターをあしらったポーチなどの雑貨類が好調に推移し807,903千円(対前年同期比22.2%増)と大幅増収となりました。

⑤その他

当分類には、ペット用品を含む生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、ディスカウントショップ向けの行楽用品が引き続き好調に推移した効果もあり259,682千円（対前年同期比1.9%増）と微増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,184,436千円増加し、17,505,693千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,219,051千円増加し、13,377,964千円となりました。

これは主に、売掛金が476,764千円、商品が538,027千円、為替相場の変動等により為替予約が357,463千円増加したことに対し、現金及び預金が127,788千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて34,614千円減少し、4,127,729千円となりました。

これは主に、投資その他の資産が40,421千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて686,617千円増加し、9,197,250千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて349,393千円減少し、5,610,376千円となりました。

これは主に、買掛金が112,215千円、1年内返済予定の長期借入金が182,000千円増加したことに対し、未払法人税等が366,182千円、賞与引当金が119,459千円、その他が189,478千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,036,010千円増加し、3,586,873千円となりました。

これは主に、長期借入金が830,754千円、その他が220,386千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて497,819千円増加し、8,308,443千円となりました。

これは主に、利益剰余金が154,068千円、為替相場の変動等により繰延ヘッジ損益が226,255千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月12日に公表いたしました2026年9月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,729,946	4,602,158
電子記録債権	389,702	398,892
売掛金	3,280,379	3,757,143
有価証券	280,000	280,000
商品	2,236,051	2,774,078
貯蔵品	241,198	273,606
為替予約	625,622	983,085
その他	379,392	312,275
貸倒引当金	△3,379	△3,276
流動資産合計	12,158,913	13,377,964
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,246,093	1,246,093
その他（純額）	894,642	898,236
有形固定資産合計	2,140,736	2,144,330
無形固定資産		
のれん	19,992	17,771
その他	99,690	104,124
無形固定資産合計	119,683	121,895
投資その他の資産		
投資有価証券	1,465,115	1,460,155
その他	442,202	406,843
貸倒引当金	△5,393	△5,496
投資その他の資産合計	1,901,924	1,861,503
固定資産合計	4,162,344	4,127,729
資産合計	16,321,257	17,505,693
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	357,031	388,542
買掛金	1,047,828	1,160,044
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,478,984	1,660,984
未払法人税等	470,162	103,980
賞与引当金	185,000	65,541
その他	1,020,763	831,285
流動負債合計	5,959,770	5,610,376
固定負債		
長期借入金	2,193,879	3,024,633
役員退職慰労引当金	161,310	146,100
資産除去債務	32,746	32,826
その他	162,927	383,313
固定負債合計	2,550,863	3,586,873
負債合計	8,510,633	9,197,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	6,039,594	6,193,663
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	6,768,336	6,922,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,781	182,242
繰延ヘッジ損益	396,587	622,843
為替換算調整勘定	115,683	122,274
その他の包括利益累計額合計	650,052	927,360
非支配株主持分	392,235	458,678
純資産合計	7,810,624	8,308,443
負債純資産合計	16,321,257	17,505,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,318,174	5,928,418
売上原価	3,747,723	3,817,646
売上総利益	1,570,451	2,110,772
販売費及び一般管理費	1,222,471	1,426,945
営業利益	347,979	683,826
営業外収益		
受取利息	4,802	5,092
受取配当金	1,996	2,375
受取手数料	2,340	2,285
不動産賃貸収入	2,514	2,423
その他	1,266	137
営業外収益合計	12,920	12,314
営業外費用		
支払利息	7,631	12,687
為替差損	25,351	27,086
その他	919	547
営業外費用合計	33,902	40,321
経常利益	326,998	655,819
税金等調整前四半期純利益	326,998	655,819
法人税、住民税及び事業税	64,834	96,363
法人税等調整額	48,796	123,983
法人税等合計	113,630	220,347
四半期純利益	213,368	435,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	63,443
親会社株主に帰属する四半期純利益	213,368	372,028

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	213,368	435,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,271	44,460
繰延ヘッジ損益	439,672	226,255
為替換算調整勘定	△19,054	6,591
その他の包括利益合計	428,890	277,307
四半期包括利益	642,258	712,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,258	649,336
非支配株主に係る四半期包括利益	—	63,443

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、化粧品、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	51,029千円	53,339千円
のれんの償却額	7,202千円	2,221千円

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年12月19日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式を処分することを決議し、以下のとおり、2026年1月16日に自己株式の処分を実施しました。

1. 処分の目的及び理由

当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）に対して当社の企業価値向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的としております。

2. 処分の概要

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| (1) 処分期日 | 2026年1月16日 |
| (2) 処分する株式の種類及び数 | 当社普通株式27,601株 |
| (3) 処分価額 | 1株につき869円 |
| (4) 処分総額 | 23,985,269円 |
| (5) 処分方法 | 譲渡制限付株式を割り当てる方法 |
| (6) 処分先 | 当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名 27,601株 |